



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月3日

上場会社名 株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 6879 URL <https://www.imagicarobot.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田 真人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 企画部・経営管理部 担当 (氏名) 森田 正和

TEL 03-6741-5742

四半期報告書提出予定日 平成29年8月3日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	21,073	11.1	644		665		1,641	
29年3月期第1四半期	18,976	63.5	37		41		53	86.9

(注)包括利益 30年3月期第1四半期 1,686百万円 (%) 29年3月期第1四半期 735百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	36.87	
29年3月期第1四半期	1.21	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
30年3月期第1四半期	66,670		31,163		41.6	
29年3月期	68,207		29,941		38.6	

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 27,718百万円 29年3月期 26,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		10.00	10.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,900	0.4	1,600	10.5	1,500	25.5	2,200	28.8	49.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(参考)通期の営業利益には、費用としてのれん等償却費約14億円が含まれております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社IMAGICAティーヴィ
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	44,531,567 株	29年3月期	44,531,567 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	108 株	29年3月期	108 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	44,531,459 株	29年3月期1Q	44,531,459 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第1四半期連結累計期間の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、海外政治情勢の不安定さ等により先行きに不透明感が残るものの、設備投資や雇用・所得環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような環境の下で、当社グループは、映像ビジネスにおいて幅広い事業展開を行い、グループの総合力を発揮し、収益力及び財務体質を強化することに取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は210億73百万円（前年同四半期比11.1%増）、営業利益は6億44百万円（前年同四半期は営業損失37百万円）、経常利益は6億65百万円（前年同四半期は経常損失41百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億41百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益53百万円）を計上いたしました。

なお、株式会社IMAGICAティーヴィの全株式を平成29年4月3日付で譲渡したことにより、関係会社株式売却益として特別利益21億77百万円を計上いたしました。

②セグメント別の業績

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の6区分から、「映像コンテンツ事業」（従来の「映像ソフト事業」）、「映像制作サービス事業」（従来の「映像技術サービス事業」ならびに「人材コンサルティング事業」）、「メディア・ローカライゼーション事業」「映像システム事業」の4区分に変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の報告セグメントに組み替えた数値で比較しております。

（従来の「放送事業」につきましては、その中核会社であった株式会社IMAGICAティーヴィを平成29年4月3日付で売却したことで、廃止いたしました。）

1)映像コンテンツ事業

ドラマ作品、テレビアニメーション作品の制作件数の増加、プロジェクトンマッピング映像、音楽Live関連映像の制作が好調に推移し、売上増に大きく貢献いたしました。映画分野において配分金収入が減少したことにより、営業利益は前年同期には及びませんでした。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は52億29百万円（前年同四半期比29.8%増）、営業利益は92百万円（前年同四半期比81.5%減）となりました。

2)映像制作サービス事業

映像配信プラットフォーム向けのエンコードサービスやデジタルシネマサービスが前年度に引き続き好調で、売上、営業利益増に貢献しました。ポストプロダクションにおいては、各市場分野とも受注は堅調に推移しました。

人材派遣サービス分野におきましては、人材紹介事業、デバックサービス分野が順調に推移しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は66億84百万円（前年同四半期比12.6%増）、営業利益は3億円（前年同四半期比312.1%増）となりました。

3)メディア・ローカライゼーション事業

各エリアとも業績は回復基調にあり、オペレーションの見直し等により、前年同期比は増収増益で推移しており、特に映像配信プラットフォーム関連のサービスの拡大が続いている米国においてその結果が顕著でありました。また、営業損失における改善は、売上の伸長の他、前年においては体制強化に伴う販売費・一般管理費の一時的費用の発生があったことも要因の1つであります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は60億31百万円（前年同四半期比24.4%増）、営業損失は56百万円（前年同四半期は営業損失7億78百万円）となりました。

なお、当該事業分野の業績につきましては、SDI Media Group, Inc. とその子会社の決算日が12月31日であるため、当第1四半期連結累計期間には平成29年1月1日～平成29年3月31日の3ヶ月間の実績を反映しております。

4)映像システム事業

イメージング分野におきましては、前年度アジア向けが非常に好調であった反動により、売上、利益ともに前年同期に比し、減少しましたが、プロ用映像機器分野におきましては、自社開発テロップシステムを含む各種システムの販売増、大型案件に引き続き確実な保守サービスの受注等により、好調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は34億11百万円（前年同四半期比16.8%増）、営業利益は3億63百万円（前年同四半期比68.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1億48百万円（0.4%）増加し、388億55百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が減少した一方で、現金及び預金が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて16億85百万円（5.7%）減少し、278億15百万円となりました。

これは主に、繰延税金資産の減少によるものであります。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて15億36百万円（2.3%）減少し、666億70百万円となりました。

②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて10億94百万円（4.5%）減少し、231億78百万円となりました

これは主に、支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて16億63百万円（11.9%）減少し、123億28百万円となりました。

これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて27億58百万円（7.2%）減少し、355億7百万円となりました。

③純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ12億21百万円（4.1%）増加し、311億63百万円となりました。

これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、連結子会社であった株式会社IMAGICAティーヴィーの全株式を平成29年4月3日付で株式会社WOWOWに譲渡を完了いたしました。これに伴い、当第1四半期連結会計期間において関係会社株式売却益として21億77百万円を計上することとなりましたので、当該特別利益の計上、及び最近の業績の動向を踏まえ、平成29年5月11日に公表いたしました平成30年3月期通期連結業績予想を修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,716,936	10,230,021
受取手形及び売掛金	17,648,525	15,445,617
たな卸資産	9,909,273	10,123,034
繰延税金資産	929,336	776,500
その他	1,561,625	2,325,903
貸倒引当金	△59,198	△45,917
流動資産合計	38,706,498	38,855,158
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,811,609	12,842,262
減価償却累計額	△8,847,787	△8,972,112
減損損失累計額	△91,165	△91,165
建物及び構築物 (純額)	3,872,655	3,778,984
機械装置及び運搬具	12,833,473	12,804,593
減価償却累計額	△12,474,498	△12,461,999
減損損失累計額	△125,560	△124,985
機械装置及び運搬具 (純額)	233,414	217,609
土地	2,943,085	2,943,085
建設仮勘定	79,696	147,360
その他	6,202,713	5,611,965
減価償却累計額	△3,608,336	△3,209,188
減損損失累計額	△39,379	△9,007
その他 (純額)	2,554,998	2,393,769
有形固定資産合計	9,683,850	9,480,810
無形固定資産		
ソフトウェア	1,380,473	1,297,465
のれん	7,203,768	6,837,979
その他	4,422,632	4,098,750
無形固定資産合計	13,006,874	12,234,195
投資その他の資産		
投資有価証券	3,718,646	4,138,792
関係会社株式	475,571	476,065
敷金及び保証金	1,186,175	1,062,249
繰延税金資産	1,137,903	193,573
その他	482,494	450,012
貸倒引当金	△190,640	△219,905
投資その他の資産合計	6,810,152	6,100,787
固定資産合計	29,500,876	27,815,793
資産合計	68,207,375	66,670,952

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,722,108	4,939,831
短期借入金	4,793,499	4,682,344
未払金	3,234,345	3,412,602
未払法人税等	1,235,608	448,523
賞与引当金	1,394,256	634,890
変動役員等報酬引当金	113,707	26,217
受注損失引当金	92,734	40,446
その他	6,687,338	8,994,103
流動負債合計	24,273,600	23,178,960
固定負債		
長期借入金	8,735,073	7,710,836
長期未払金	216,815	644,987
繰延税金負債	1,036,147	1,009,612
退職給付に係る負債	2,070,931	1,162,033
その他	1,933,232	1,801,346
固定負債合計	13,992,200	12,328,817
負債合計	38,265,800	35,507,777
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,244,915	3,244,915
資本剰余金	15,189,280	15,189,280
利益剰余金	7,256,468	8,452,973
自己株式	△42	△42
株主資本合計	25,690,622	26,887,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,080,094	1,387,112
土地再評価差額金	△17,933	△17,933
為替換算調整勘定	△443,718	△541,481
退職給付に係る調整累計額	4,308	3,624
その他の包括利益累計額合計	622,752	831,322
非支配株主持分	3,628,199	3,444,725
純資産合計	29,941,574	31,163,174
負債純資産合計	68,207,375	66,670,952

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	18,976,374	21,073,526
売上原価	12,957,616	15,186,262
売上総利益	6,018,757	5,887,263
販売費及び一般管理費	6,055,992	5,242,319
営業利益又は営業損失(△)	△37,234	644,943
営業外収益		
受取利息	2,124	1,034
受取配当金	35,930	17,665
持分法による投資利益	8,546	2,704
為替差益	—	5,950
その他	41,293	38,886
営業外収益合計	87,895	66,241
営業外費用		
支払利息	33,652	37,729
為替差損	41,353	—
その他	16,963	8,200
営業外費用合計	91,969	45,930
経常利益又は経常損失(△)	△41,308	665,254
特別利益		
固定資産売却益	17	—
段階取得に係る差益	190,403	—
関係会社株式売却益	—	2,177,929
その他	20,492	—
特別利益合計	210,913	2,177,929
特別損失		
固定資産売却損	185	110
固定資産除却損	4,764	1,659
減損損失	17,951	—
投資有価証券評価損	276	14,150
関係会社貸倒引当金繰入額	—	34,905
その他	—	107
特別損失合計	23,178	50,933
税金等調整前四半期純利益	146,426	2,792,250
法人税等	185,600	1,213,346
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△39,173	1,578,903
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△92,929	△62,915
親会社株主に帰属する四半期純利益	53,755	1,641,818

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△39,173	1,578,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△152,215	306,085
繰延ヘッジ損益	△1,766	—
為替換算調整勘定	△549,314	△197,355
退職給付に係る調整額	6,731	△683
その他の包括利益合計	△696,564	108,046
四半期包括利益	△735,737	1,686,949
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△373,568	1,850,389
非支配株主に係る四半期包括利益	△362,169	△163,439

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	映像 コンテンツ	映像制作 サービス	メディア・ロー ライゼーション	映像 システム	計
売上高					
外部顧客への売上高	4,027,522	5,763,274	4,828,088	2,855,338	17,474,224
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,753	174,832	20,772	65,897	263,255
計	4,029,276	5,938,107	4,848,860	2,921,236	17,737,480
セグメント利益又は 損失(△)	497,666	72,924	△778,717	215,356	7,230

(単位：千円)

	その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高			
外部顧客への売上高	1,474,404	27,745	18,976,374
セグメント間の 内部売上高又は振替高	576	△263,831	—
計	1,474,980	△236,086	18,976,374
セグメント利益又は 損失(△)	93,549	△138,014	△37,234

(注) 1. 「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、売却した子会社の情報を表示しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△138,014千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益1,130,583千円及びセグメント間取引消去△1,268,597千円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 サービス	メディア・ロー カライゼー ション	映像 システム	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	5,203,521	6,552,363	5,945,154	3,336,189	21,037,228	36,298	21,073,526
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	25,630	132,429	85,920	75,542	319,523	△319,523	—
計	5,229,151	6,684,792	6,031,074	3,411,732	21,356,751	△283,224	21,073,526
セグメント利益 又は損失(△)	92,070	300,494	△56,919	363,236	698,881	△53,937	644,943

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△53,937千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益1,142,071千円及びセグメント間取引消去△1,196,009千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は従来「映像技術サービス事業」、「映像ソフト事業」、「放送事業」、「映像システム事業」、「人材コンサルティング事業」及び「メディア・ローカライゼーション事業」の6つを報告セグメントとしておりましたが、平成30年3月期より経営管理体制を変更した事と、平成29年4月3日付で「放送事業」を構成しておりました株式会社IMAGICAティーヴィの全株式を売却した事により当第1四半期連結会計期間から「映像コンテンツ事業」、「映像制作サービス事業」、「メディア・ローカライゼーション事業」及び「映像システム事業」の4つを報告セグメントといたしました。

これに伴い、セグメントの業績をより適切に評価するために、セグメント間の費用の配分方法を一部変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しており、売却した子会社については変更後の報告セグメントに含まれない事業セグメントであるため、「その他」に区分しております。